

平成 27 年度 事業報告

一般社団法人 島根被害者サポートセンター

平成 27 年度は、当センターが島根県公安委員会から早期援助団体として指定(平成 26 年 3 月 13 日指定)を受け、実質的には 2 年目となる事業年であったが、民間の支援団体としての機能と役割を果たすため、島根県、島根県警察を始め関係機関、団体等との連携の下、被害者等のニーズに即した各種支援事業を行った。

また、支援事業の基盤強化のため

- ・ 支援のスキルアップを図るための研修の開催・参加
- ・ 当センターの周知及び被害者支援に関する県民の理解を深めるための広報・啓発
- ・ 安定的な財政基盤構築のためのファンドレイジング活動

を推進した。

前記のほか、法人としての社会的信用度の向上と組織基盤の一層の強化を図っていくため、島根県知事による公益法人認定を目指し、定款等諸規程の改正及び申請関係書類を作成し、12 月 21 日に県知事に対し申請を行い、本年 4 月 1 日に公益認定を受けた。

事業の具体的な推進結果は下記のとおりである。

1. 被害者支援事業

(1) 支援活動状況 月別一覧

	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング	合計
4 月	12	0	0	0	12
5 月	12	0	0	0	12
6 月	14	2	0	1	17
7 月	7	0	0	0	7
8 月	8	0	2	0	10
9 月	8	1	0	0	9
10 月	11	1	0	1	13
11 月	7	1	0	0	8
12 月	12	0	0	0	12
1 月	9	2	0	1	12
2 月	3	1	0	0	4
3 月	17	4	1	0	22
合計	120	12	3	3	138

(2) 支援活動状況 内容別一覧

	電話相談	面接相談	直接支援	カウンセリング	合計
殺人・強盗	11	1	1	0	13
暴行・傷害	11	1	0	0	12
性的被害	9	1	0	1	11
DV	0	0	0	0	0
ストーカー	0	0	0	0	0
交通事故被害	37	3	2	2	44
詐欺・窃盗	3	0	0	0	3
悪質商法等	1	1	0	0	2
その他	48	5	0	0	53
合計	120	12	3	3	138

(3) 直接支援活動の状況

内 容	件 数
警察関連支援	0
裁判関連支援	2
検察庁関連支援	1
行政窓口等付添	0
病院付添	0
自宅訪問	0
生活支援	0
宿泊施設提供	0
自助グループ	0
その他	0
合 計	3

相談内容	件 数
殺人・強盗	1
暴行・傷害	0
性的被害	0
DV	0
ストーカー	0
交通事故被害	2
詐欺・窃盗	0
悪質商法等	0
その他	0
合 計	3

2. 被害者支援活動員養成講座及び継続研修等

(1) 第8回被害者支援活動員養成講座の開催
(新規被害者支援活動員の養成)

受講生：14名

(うち新規被害者支援活動員登録者：6名)

※平成27年度末現在 被害者支援活動員登録者数：35名



開催日	テ ー マ	講 師
6月20日	開講式	島根被害者サポートセンター
	被害者支援の概要等	
	傾聴 自分自身を知る(エゴグラム)	
7月4日	検察庁の被害者支援について	松江地方検察庁
	こどもの虐待対策について	島根県中央児童相談所
	刑事裁判と被害者支援について	松江地方裁判所
7月11日	性犯罪被害者のサポート	島根県警察本部捜査第一課
	交通事故被害者のサポート	島根県警察本部交通指導課
	被害者支援について	弁護士
	亡くなった娘からの生命のメッセージ	交通犯罪被害者遺族
8月1日	犯罪被害者の心理とその支援	臨床心理士
	警察における被害者支援について	島根県警察本部広報県民課
	ストーカー被害者のサポート	島根県警察本部少年女性対策課
	被害者支援制度等の概要	法テラス
8月8日	DV被害者及性暴力被害者への対応	女性相談センター
	最近の消費者トラブル事例と対策	島根県消費者センター
	まとめ(感想文)	島根被害者サポートセンター
	閉講式	

(2) 継続研修の開催（支援員の資質向上を目的とした部内研修）

実施日	内 容	講 師
5月16日	交通事故被害者等への対応について	元島根県交通事故 相談所相談員
6月20日	傾聴・自分自身を知る	臨床心理士
7月11日	亡くなった娘からの生命のメッセージ	交通犯罪被害者遺族
8月 8日	DV被害者及び性暴力被害者への対応について	女性相談センター
9月12日	中四国ブロック研修会（愛媛）伝達教養	研修会参加者
10月10日	刑事手続きと裁判員裁判《図書館講座》	法テラス島根
11月14日	被害者支援講演会	門田隆将氏
12月19日	警察等関係機関との連携について	事務局長
1月16日	犯罪被害給付金制度について	事務局長
2月20日	中四国ブロック研修会（広島）伝達教養	研修会参加者
3月12日	裁判員裁判（殺人未遂）を傍聴して	裁判傍聴者



(3) 全国被害者支援ネットワーク主催の研修、会議等への参加

支援活動員等のスキルアップを目的とした各種研修等へ参加した。

- ① 全国新任事務局長等会議及び全国事務局長等会議
(4/24～4/25 東京都 事務局長出席)
- ② 全国被害者支援ネットワーク総会 (5/20 東京都 理事長出席)
- ③ 2015年度第1回中国・四国ブロック事務局長会議
(8/28 愛媛県 事務局長出席)
- ④ 2015年度第1回中国・四国ブロック研修会 (8/29～/30 愛媛県 4名参加)
- ⑤ 全国犯罪被害者支援フォーラム201 (10/2 東京都 3名参加)
- ⑥ 秋期全国研修会 (10/3～10/4 東京都 3名参加)
- ⑦ 2015年度第2回中国・四国ブロック事務局長会議
(1/29 広島 事務局長出席)
- ⑧ 2015年度第2回中国・四国ブロック研修会(1/30～/31 広島県 4名参加)


(4) 他機関主催による講演会、協議会等への参加

上記のほか以下の講演会等へ参加した。

- ① 市町村犯罪被害者等支援担当者会議における講演 講師：岡山県警職員
(7/13 事務局長ほか1名参加)
- ② 性暴力被害者支援県民公開講座 講師：ヤマトミライ氏
(7/24 事務局長ほか1名参加)

- ③ 島根県被害者支援連絡協議会講演会 講師：近藤さえ子氏
(11/4 島根県民会館 事務局長参加)
 - ④ 鳥取県被害者支援フォーラム 講師：中江美則氏
(11/4 米子コンベンションセンター 1名参加)
 - ⑤ 公共交通事故被害者等支援フォーラムへの参加
(11/20 広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ 2名参加)
 - ⑥ 大阪教育大学学校危機メンタルサポートセンター第3回フォーラム
(3/12 大阪府 さつきホール 事務局長参加)
- (5) 県連絡協議会・地区ネットワーク等への参加
- ・島根県犯罪被害者支援連絡協議会幹事会 (10/8 事務局長ほか1名出席)
 - ・島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会総会 (10/10 事務局長出席)
 - ・島根県被害者支援連絡協議会総会 (11/4 事務局長出席)
 - ・隠岐地区被害者支援ネットワーク総会 (11/6 事務局長出席)
 - ・雲南地区被害者支援ネットワーク総会 (11/11 事務局長ほか1名出席)
 - ・県警本部主催交通事故事件捜査専科 (11/16 事務局長ほか1名講義)
 - ・出雲地区被害者支援ネットワーク総会 (11/19 事務局長ほか1名出席)

3. 広報啓発活動

- (1) 「被害者支援を考える講演会」の開催
11/14(土) 島根県民会館3階 大会議室
講師 門田隆将氏
(ジャーナリスト・ノンフィクション作家)
演題「誰もが被害者になり得るといふこと
～被害者支援について～」
- 
- (2) 人権フェスティバルへの参加
10/25(日) 出雲市平田町平田文化館において パネル、遺族の手記等を展示
 - (3) 支援自動販売機設置セレモニーへ参加
11/24 松江市 松江土建株式会社における支援自販機設置式典に理事長、事務局長ほか1名が参加 (テレビ放映あり)
 - (4) 犯罪被害者週間(11/25～12/1)を中心とした広報啓発活動
 - ① 県警主催の犯罪被害者支援キャンペーンに参加
11/8 松江市 イオン松江店において音楽隊演奏を取り入れた広報活動に参加
 - ② 街頭広報活動
11/24 松江市 イオン菅田店でチラシ等配布
 - ③ 県主催「犯罪被害者等支援パネル展及び図書展示」に参加
犯罪被害者週間中、島根県立図書館で開催のイベントに参加
 - (5) ラッピングバスによる広報
 - ① 松江市営バス (路線：松江市内循環線) 平成21年度から実施
 - ② 石見交通 (路線：浜田～江津) 平成23年度から実施

(6) 広報誌等の作成・配付

- ① 広報誌「ニューズレター」 2回発行（7月・1月）
- ② リーフレット・ポケットティッシュ・チラシを作成配布

(7) ホームページによる広報活動

定期的に更新し、支援活動の紹介、入会案内等の広報を実施

4. 「命の大切さを学ぶ教室」の開催等

(1) 「命の大切さを学ぶ教室」の開催

被害者遺族が犯罪から受けた様々な痛みや、子どもを亡くした親の思いを話すことで、将来を担う中学・高校生等に命の大切さを伝え、罪を犯してはならないという規範意識の向上を図ることを目的とした教室を県警と協働し計15回開催した。

実施日	学校名	講師	付添い
5月12日	松江市立東出雲中学校	江角 弘道 氏	1人
5月19日	奥出雲町立横田中学校	江角由利子 氏	1人
5月21日	松江農林高等学校	江角由利子 氏	2人
5月21日	出雲市立多伎中学校	一井 彩子 氏	1人
5月22日	松江市立第一中学校	一井 彩子 氏	1人
6月12日	浜田商業高等学校	江角 弘道 氏	1人
6月19日	松江西高等学校	市原千代子 氏	1人
6月26日	開星中学校	市原千代子 氏	4人
6月30日	安来市立安来第二中学校	江角由利子 氏	2人
7月 2日	松江市立本庄中学校	一井 彩子 氏	1人
7月 3日	海士町立海士中学校	一井 彩子 氏	1人
7月 3日	出雲高等学校	江角由利子 氏	1人
7月10日	益田市立東陽中学校	市原千代子 氏	1人
7月15日	浜田水産高等学校	山根 和子 氏	2人
1月24日	益田市立鎌手中学校	江角由利子 氏	3人



(2) 県警主催「命の大切さを学ぶ教室」島根県作文コンクールの後援

優秀作品への賞品贈呈

図書カード 1000円×10名（中学生5名、高校生5名）

最優秀賞 2作品を全国作文コンクールに応募し、中学生1名高校生1名が犯罪被害者支援室長賞を受賞

5. 預保納付金助成事業の活用

- (1) 人的体制の整備
非常勤職員2名を採用し支援業務等の体制を強化
- (2) 人材育成事業
全国ネットワーク主催の全国研修会(3名)及び
中国・四国ブロック研修会2回(計8名)等
- (3) 電話相談室の勤務環境の整備
空調整備による勤務環境の改善
- (4) 多角的な広報啓発活動
 - ・ 広報用グッズ「LEDライトキーホルダー」の作成
 - ・ 新聞広告欄への定期掲載(月4回)、
 - ・ ラジオスポット放送(月4回 1回20秒)



6. ファンドレージング活動

- (1) 支援自販機の設置
支援自販機取扱会社(自動販売機オペレーター)の
協力を得て、清涼飲料水の売上の一部を当センターに寄付で
きる「支援自販機」の設置促進を図った。(12台設置)
(平成27年度末現在合計設置台数 111台)
- (2) 「2015年 イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」への参加
黄色いレシート投函合計額の1% 41,100円(平成28年度寄付金に計上)
(平成28年4月17日(日)事務局長が贈呈式に出席)
- (3) 全国被害者支援ネットワークによるホンデリングへの参画
本の寄贈による売却代金の寄付
寄付金総額 61,276円



<平成27年度寄付総額>

・ 一般寄付金 (企業団体等)	412,315円
・ 幸せの黄色いレシート (2014年度分)	23,700円
・ ホンデリング寄付金	61,276円
・ 支援自販機寄付金	5,066,518円
合 計	<u>5,563,809円</u>

7 公益法人認定に向けた諸事務の実施

島根県知事の公益法人認定を受けるため島根県の指導の下、定款等関係規程の変更作業及び公益法人認定申請に伴う諸事務を行い、平成27年12月21日、島根県知事へ申請、翌28年1月20日島根県からの諮問を受けた島根県公益認定等審議会による知事宛での答申を経て4月1日に公益認定を受けた。